

浜通り訪問リハビリステーション 設立、開所のお知らせ

震災から2年が経過しようとしている今日、2012年（平成24年）11月1日、福島県南相馬市に「浜通り訪問リハビリステーション」（以下 当事業所）が開設されました。当事業所は福島第一原発から北へ約23km地点にあります。震災当時は事業所から数百mのところまで津波が到達したとのこと。街の中心部は住民の方も戻ってこれ、明るさを取り戻しているようにみえます。しかし、沿岸部に目を向けると、瓦礫の山がうずたかく築き上げられ、まだまだ復興には程遠い様子がみられます。

そのような南相馬市に訪問リハ事業所は、震災前には数カ所あったとのことですが、震災後には訪問リハ事業所はおろか、セラピスト数も激減してしまったと南相馬市立総合病院の金澤幸夫院長からお聞きしました。

当事業所はリハ3協会（日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本作業療法士協会）が立ち上げた一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団が母体となり運営されています。現在、PT1名（在籍出向）、OT2名の合計3名体制で、常勤換算では2.5名となっています。スタッフは皆、福島県外の出身者です。経験年数は20年超のベテランから中堅どころで構成されています。サービス提供対象地域は南相馬市全域、相馬市の一部地域を対象としております。

当事業所の設立の意義は、まず被災地復興支援であるということです。地域の多くの高齢者の方々は



農業を“意味ある作業”として生活してこられたということが、ここ数カ月の訪問を通してみえてきました。その作業が、原発事故の影響で奪われた状態が続いています。奪われてしまった“意味ある作業”を一OTとして、利用者様に寄り添い共に創り出していくことが私たちの使命ではないかと考えています。福島県沿岸部の被災地は復興しておらず、作業を剥奪された状態が続いているという事実を「浜通り訪問リハビリステーション」を通して知っていただければと存じます。

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団
浜通り訪問リハビリステーション
作業療法士 山越 亮